

大学生などの若者による地域活動紹介

東伊豆町・「空き家改修プロジェクト」

現役大学生・卒業生たちがつくる空間と地域のつながり

平成26年度より、芝浦工業大学建築学科の学生を中心として集まった「空き家改修プロジェクト」は、東伊豆町をきっかけとして、全国各地の建物を改修する事業を展開しています。

平成28年度からは、そのプロジェクト出身者が「地域おこし協力隊」として、改修した建物(旧東伊豆町消防団第六分団器具置場(以下、旧第六分団器具置場))を地域コミュニティ拠点(ダイロクキッチン)として運営しているそうです。今回はその動きについてお伝えします！

芝浦工業大学と東伊豆町との関係は、インターンシップ生の受け入れがきっかけです。

大学2年生の時に東伊豆町にインターンをした学生が、平成26年度大学院生となって、「東伊豆町に恩返しをしたい」と町内の小さな建物を改修しました。

平成27年度、旧第六分団器具置場を取り壊すか修繕するかという話があがりました。

平成26年度の実績から「空き家改修プロジェクト」に声がかかり、学生と地域の人々が一緒になって検討し、改修していくことになりました。改修は、「空き家改修プロジェクト」が中心に行い、旧第六分団器具置場は、「ダイロクキッチン」として生まれ変わるようになったのです。



改修して..



生まれ変わった「ダイロクキッチン」

ダイロクキッチンは、「空き家改修プロジェクト」出身の男性が、「ダイロクキッチンを地域の人に使って欲しい！」という気持ちから、地域おこし協力隊として東伊豆町に移住し、運営しています。料理教室や落語会など様々な交流の場を提供し、取材日にも、地元の女性たちが集まって写真展の準備をしていました。この夏からは、東伊豆町と協働して認知症カフェも開催しているそうです！



料理教室



突然伺った時には写真展準備が



落語会

今、「空き家改修プロジェクト」が東伊豆町で取り組むのは、東海汽船の事務所の改修です。

このプロジェクトは、教授からの指導や大学組織の活動ではなく、学生の主体的な活動であることが大きな特長です。最近では芝浦工業大学以外の大学からも参加者があるようで、今後も多くの人に関わる活動になっていくことが期待されます。

編集後記

話を聞いた東伊豆町役場の方々からも、この活動をとっても大切にしていることが伝わってきました。

こういう関係が全県に広がっていくと良いなと思います！